

吾妻山の火山活動解説資料（平成 22 年 10 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高い状態が続いています。火山性地震はやや多い状況で推移しています。
 地殻変動に特段の変化はなく、ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
 引き続き、火口内では火山ガスの噴出がみられますので警戒が必要です。
 平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3、図 5～6）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは、50～600mで推移し、噴気活動はやや高い状態が続いています。

13 日に実施した現地調査では、前回（2010 年 8 月 5 日）と比較して、大穴火口の地表面温度分布¹⁾に特段の変化は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は、9 月以降やや多い状況で推移しています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 7～10）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

12 日から 14 日にかけて実施した大穴火口付近の GPS 繰り返し観測でも、前回（2010 年 8 月 5 日～17 日）の観測結果以降、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。



図 1 吾妻山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。）

* 運用開始前の観測点も含まれています。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 11 月分）は平成 22 年 12 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』及び『2 万 5 千分の 1 地形図』を複製しています（承認番号 平 20 業複、第 647 号）。



図 2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状態（10 月 18 日 16 時 21 分頃）
 福島市上野寺（大穴火口から東北東約 14km）に設置した遠望カメラによる。
 大穴火口からの白色噴気の高さは一時的に 600m。（当時、大穴火口付近は無風に近い状態）

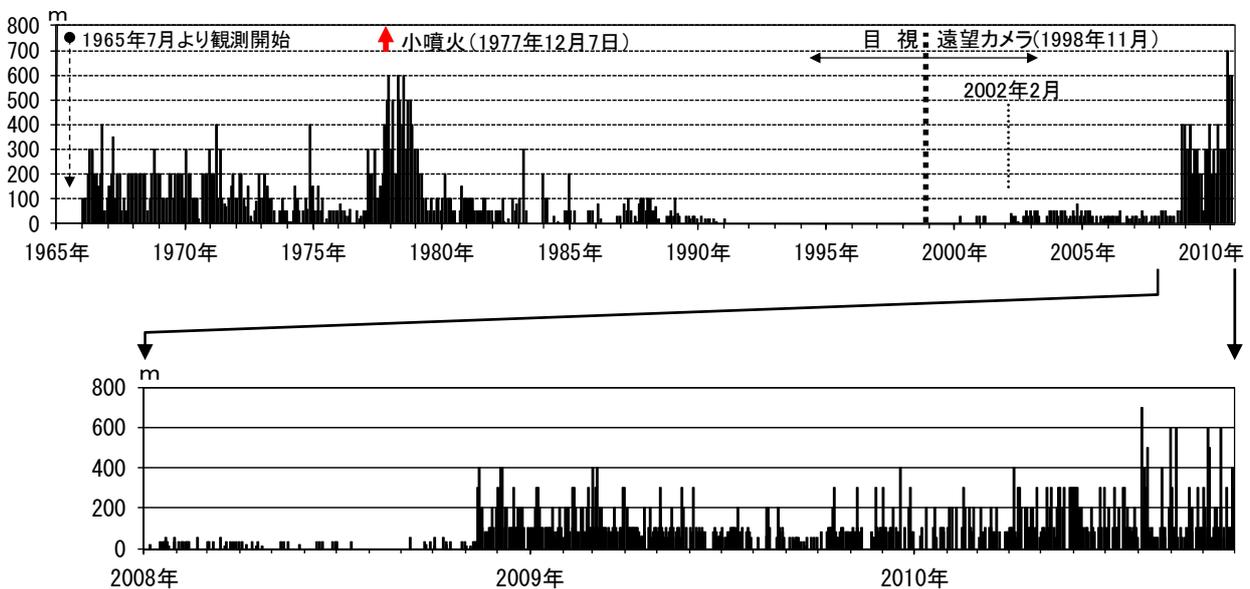


図 3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965 年 7 月～2010 年 10 月）
 下段：日別最大噴気高（2008 年 1 月～2010 年 10 月）
 1998 年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約 20km）からの目視観測です。
 1998 年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約 14km）による観測です。
 2002 年 2 月以前は定時（09 時、15 時）及び随時観測による高さです。
 2002 年 2 月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
 2010 年 8 月 3 日に一時的に 700m、8 月 31 日、9 月 5 日、10 月 6 日、18 日に一時的に 600m を観測しました。

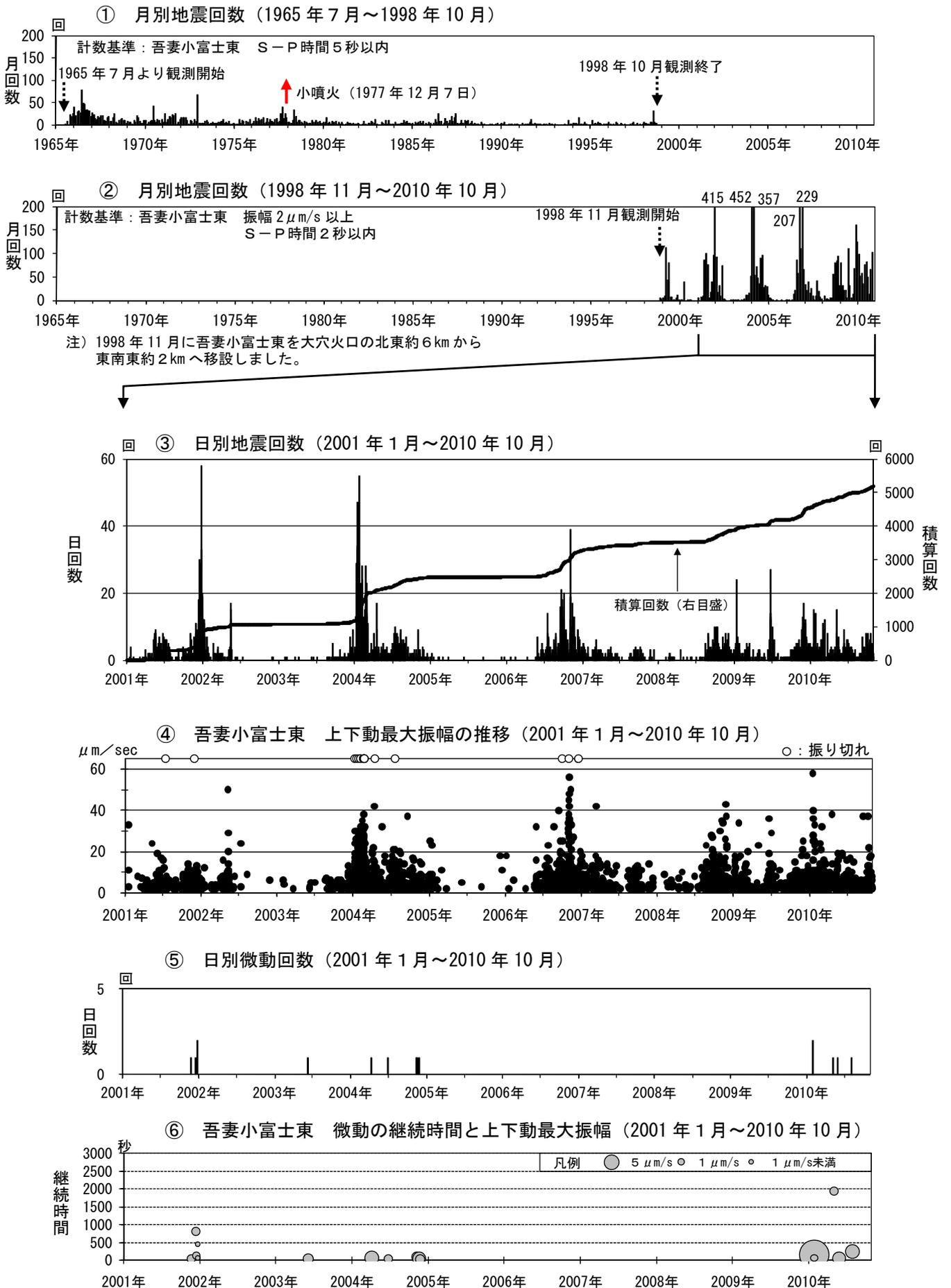


図 4 吾妻山 地震活動経過図

機器障害のため、2010 年 10 月 14～15 日の日別地震回数は欠測です。

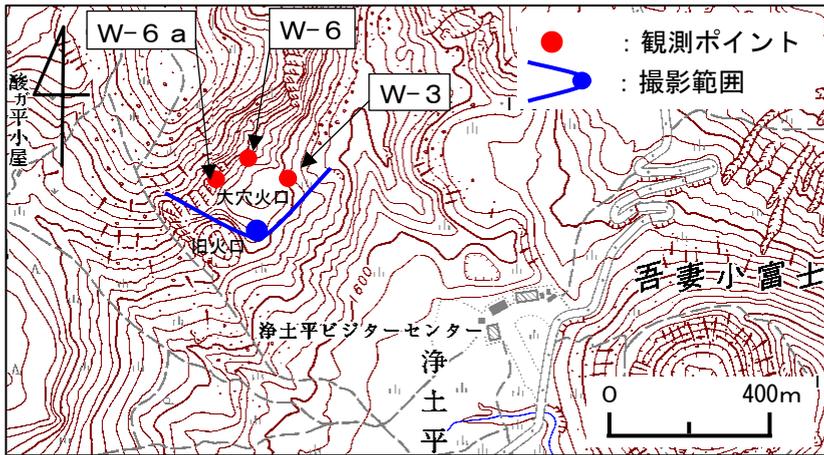


図5 吾妻山 観測ポイント及び可視画像と地表面温度分布¹⁾ 撮影範囲
この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図 25000（地図画像）」を複製しました。

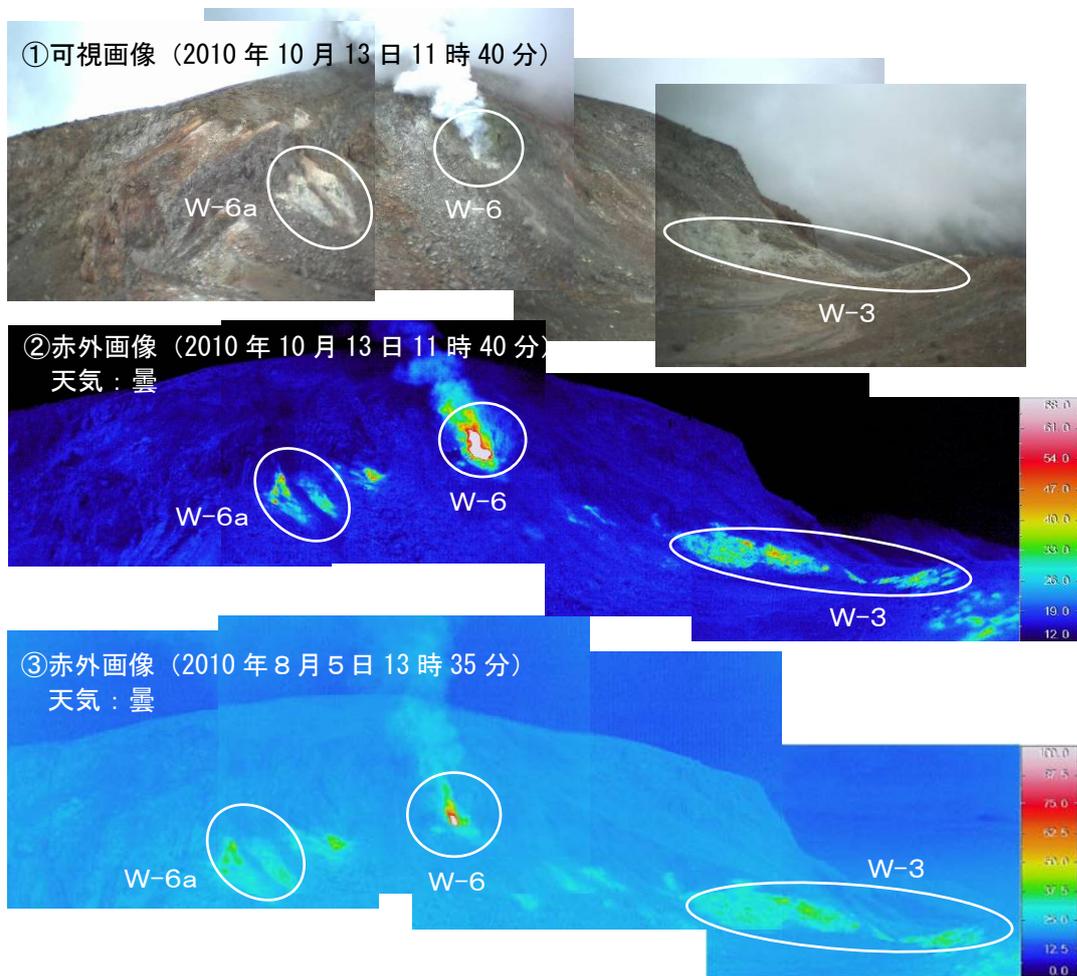


図6 吾妻山 大穴火口内北壁の可視画像と地表面温度分布¹⁾
①、②：2010年10月13日撮影 ③：2010年8月5日撮影
前回（2010年8月5日）と比較して、大穴火口の地表面温度分布¹⁾に特段の変化は認められませんでした。



図 7 吾妻山 GPS 観測点配置図
GPS 基線①～④は図 8 の①～④に対応しています。

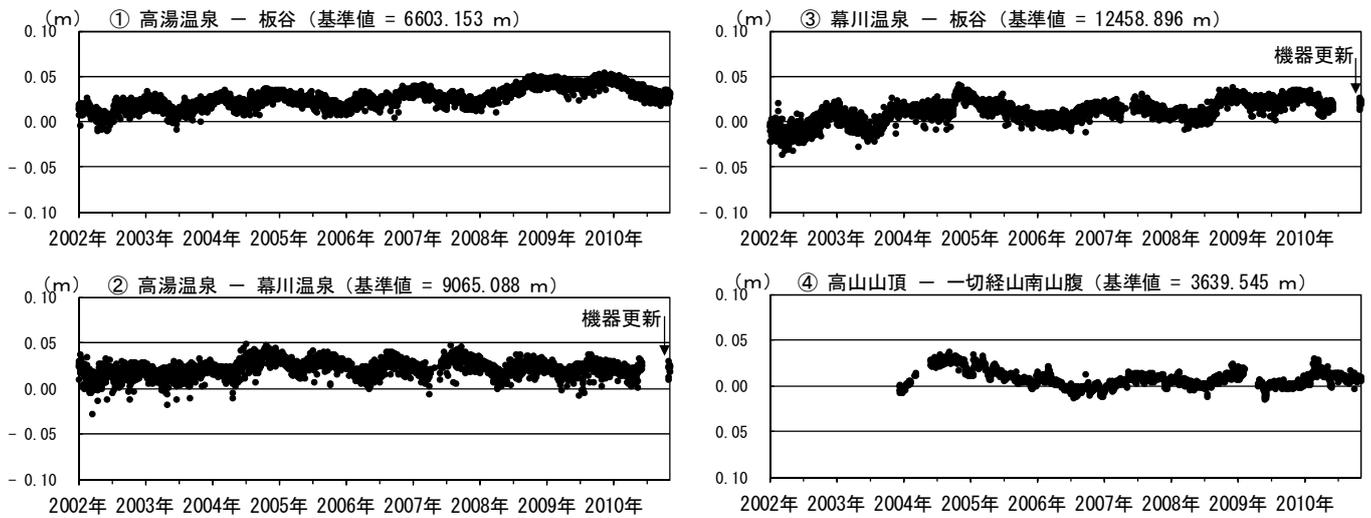


図 8 吾妻山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月～2010 年 10 月)
①～④は図 7 の GPS 基線①～④に対応しています。
グラフの空白部分は欠測を表しています。

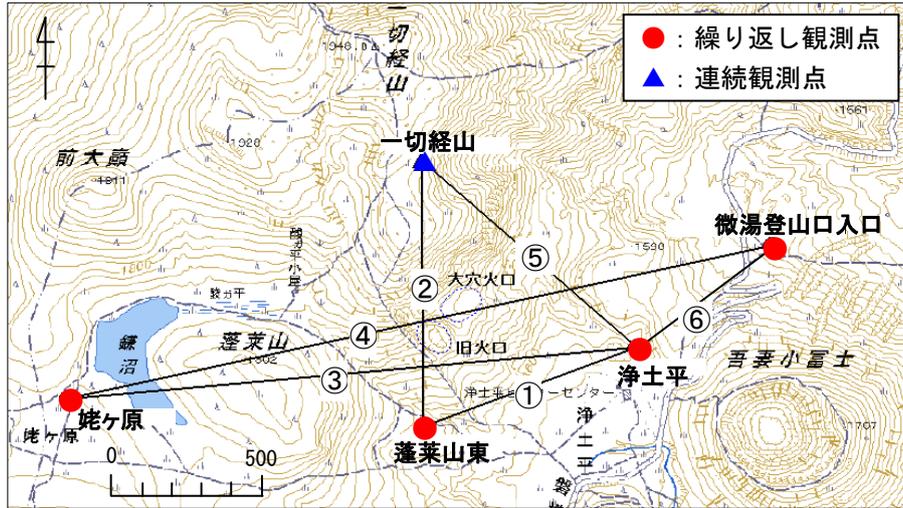


図9 吾妻山 GPS連続及び繰り返し観測点配置図

GPS基線①～⑥は図10の①～⑥に対応。

この地図の作成には国土地理院発行の「2万5千分の1地形図（吾妻山、土湯温泉）」を複製しました。

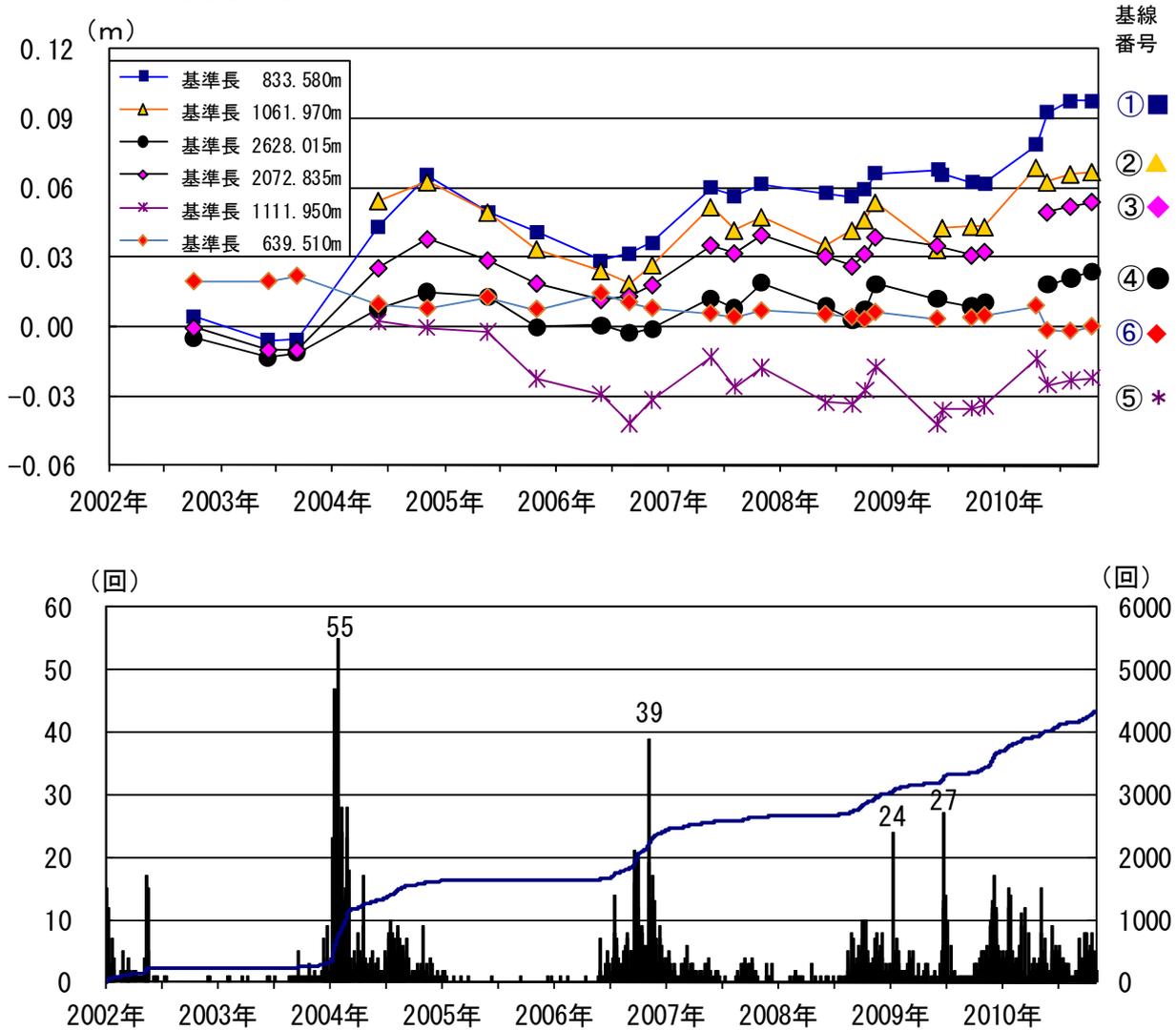


図10 吾妻山 GPS連続及び繰り返し観測による基線長変化図 (上図：2002年9月～2010年10月)

日別地震回数 (下図：2002年1月～2010年10月)

上図の基線番号①～⑥は図9のGPS基線①～⑥に対応。